

リレンザを処方された 患者さん・ご家族・周囲の方々へ



インフルエンザにかかった時は、飛び降りなどの異常行動をおこすおそれがあります。(特に発熱から2日間は要注意!)

窓の鍵を確実にかけるなど、異常行動に備えた対策を徹底してください。

〈異常行動による転落等の事故を予防するためのお願い〉

- インフルエンザの患者さんでは、抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無や種類にかかわらず、異常行動に関連すると考えられる転落死等が報告されています。
- 異常行動は、以下のことが知られています。
 - ① 就学以降の小児・未成年者の男性で報告が多い(女性でも発現する)
 - ② 発熱から2日間以内に発現することが多い

異常行動の例

- ・ 突然立ち上がって部屋から出ようとする
- ・ 興奮して窓を開けてベランダに出て、飛び降りようとする
- ・ 人に襲われる感覚を覚え、外に走り出す
- ・ 突然笑い出し、階段を駆け上がろうとする
- ・ 自宅から出て外を歩いていて、話しかけても反応しない
- ・ 変なことを言い出し、泣きながら部屋の中を動き回る など

- 万が一の転落等の事故を防止するため、発熱から少なくとも2日間は、就寝中を含め、特に小児・未成年者が容易に住居外へ飛び出さないために、例えば、以下のような対策を講じてください。

- ・ 玄関や全ての部屋の窓を確実に施錠する(内鍵、チェーンロック、補助鍵がある場合は、その活用を含む)
- ・ ベランダに面していない部屋で寝かせる
- ・ 窓に格子のある部屋がある場合は、その部屋で寝かせる
- ・ 一戸建てにお住まいの場合は、できる限り1階で寝かせる

リレンザを吸入する時の注意点

インフルエンザウイルス感染症は急激な発熱（38～39℃以上）や脱水症状などにより体力が低下しています。過度に強く吸引したり、長く息止めをすると失神／転倒などを誘発し、思わぬ怪我をすることがあります。万が一の事故を防止する為に椅子やベッドに座るなどリラックスした状態で吸入しましょう。

注意事項

この薬は1回にブリスター2つの吸入が必要です。

治療に用いる場合▶朝 ブリスター2つ 夜 ブリスター2つを5日間吸入

予防に用いる場合▶1日1回（同じ時刻に）：ブリスター2つを10日間吸入



- 吸入前に、「吸入口」内部が汚れていないことを確認してください。
- この吸入器は、他の薬には使用しないでください。
- 吸入後は、清潔保持のためカバーをしてください。
- ✓ 添加物として乳糖が含まれており乳アレルギーのある人は注意が必要です。
- ✓ 吸入器が回らない等、うまく使えない時は、処方された薬局、医療機関にご相談ください。
- ✓ その他、何か気になることがありましたら、医師・薬剤師にご相談ください。

出席停止の期間の基準

第二種の感染症（結核及び髄膜炎菌性髄膜炎を除く。）にかかった者については、次の期間。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでない。

インフルエンザ（特定鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあっては、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで。

文部科学省 学校保健安全法施行規則第十九条（2018年9月確認）

《インフルエンザによる学校の出席停止期間の例（児童・生徒の場合）》

